



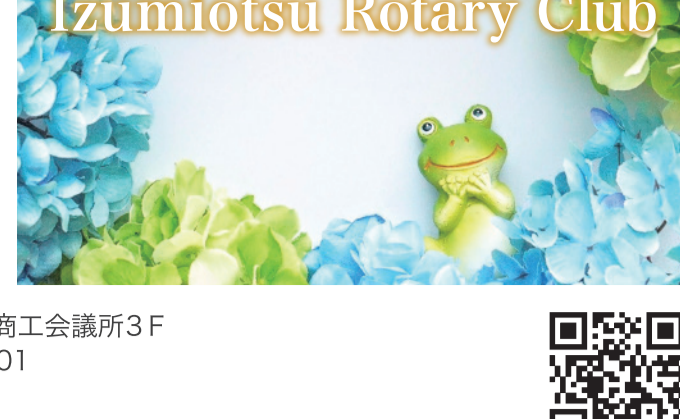
週報 第3206回

会長 南出 和成 副会長 杉本 憲一・飯野 信
幹事 松村 泰英 S A A 櫻井 善章

例会場	ホテルレイカールスターアルザ泉大津
TEL	0725-20-1121
例会日時	毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501

メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会(2023年6月9日)

■ プログラム

卓話担当 森口 和信 会員
卓話講師 泉大津市消防本部 警防課 消防司令 高橋 浩司 様
「地震と津波とその備え」
～泉大津で地震が起こったらどうする～

■ 次週のプログラム

6月16日: 定款の規定により例会休会

■ 今後の予定

- 6月23日: 「一年を振り返って」 会長・幹事・SAA
- 6月30日: 最終例会懇親会

■ 祝 誕生日

松内 俊夫(11日)

■ 今月のロータリーソング

奉仕の理想

今月の歌	
かたつむり	
でんでん虫々	かたつむり
お前の頭は	どこにある
角だせ	槍だせ
	頭だせ



■ 先週の例会

会長の時間

南出 和成 会長

- 風薫る5月、「薫風」について
- 次元の異なる少子化対策について
- 「啐啄同時」について

日本に棲む約540種類の野鳥の大半は、4月～7月に繁殖期を迎える。あちこちで、この様子を見かけることがありますが、しかし、ひなが可愛いくらと手を伸ばし卵やヒナを手にも取る「野鳥保護法」で禁じられている。仮に集立ちに失敗したヒナを発見しても、可哀そうでも自然の摂理に任せるのが基本だそうです。

「啐啄同時」という言葉が中国の仏典に載っている。「卒」はヒナが卵から外に出ようとする隙を内側から突くこと。「啄」はヒナの誕生を促すために親鳥が外から殻を啄むことという。環境が整っていないのにヒナが

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3206回

外へ出たがったり、あるいは、ヒナの育成が少し遅れているのに親鳥が外から殻を破って誕生を催促したり、「啐啄」どちらのタイミングがずれても、ヒナはうまく孵ることができない。「機を得て両者相応じ得難い好機」を「啐啄同時」と言うらしい。

以前、天台宗の元座主・山田 恵諦翁が日経新聞にも書いていらした。

「後継者や部下が、コツコツと実績を残し始めたり、社長や上司を驚かすようなアイデアを口に始めたら、それはもう「啐」の合図だ。その変化に気づき自分もその孵化を促すよう、「啄」で呼吸しなければならぬ。このタイミングが企業の承継・永続性に繋がると」

以上

幹事報告

松村 泰英 幹事

来週の例会ですが、クラブアッセンブリーがございまして、各奉仕担当理事の方はよろしくお願ひいたします。

委員会報告

○本日例会終了後、13時45分から職業奉仕勉強会を行いますので、ご出席される方はよろしくお願ひ致します。本日は谷ガバナーエレクトによる職業奉仕のお話となっております。

(今井 克範 職業奉仕委員長)

①6月4日(日)港湾美化清掃活動がございましてご参加の皆様、よろしくお願ひ致します。ロータリー担当の場所は小松緑道で変わりありません。各テーブルに資料をおかせていただいております。ご参考にしていただきまして当日ご参加よろしくお願ひ致します。雨天の場合は中止のご連絡がありますので、参加者の皆様ご連絡を回します。

②清掃啓発活動の一環として、「意外にはまる。ごみ拾い。」ということで、スマートフォンのアプリを使って、自分のごみを拾った時に写真を撮ってSNS(ピカ)に投稿するというような取り組みを泉大津市もされておりますのでご興味のある方は、こちらの方もテーブルに資料をおかせていただいておりますので、ご覧になられて利用していただければと思います。(川端 徹 社会奉仕委員長)

■ ビジター

辻本 泰祐 様(堺RC)

■ 出席報告

会員数42名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
5/26	34名	8名	—	80.95%
5/14	32名	10名	1名	78.57%

■ メークアップ

外山(5/19 社会奉仕委員会)

■ ニコニコ箱

- ・泉大津税務署署長の増田様、本日はよろしくお願ひいたしました。辻本様、本日はようこそおこしくださいました(南出)
- ・泉大津税務署署長 増田歌織様、本日卓話宜しくお願い致します(松村)
- ・増田署長、本日はよろしくお願ひいたします。(櫻井)
- ・増田税務署長様、ようこそお越し下さいました。有難うございます。講話をよろしくお願ひします(根尾)
- ・欠席のおわびです(寺田)

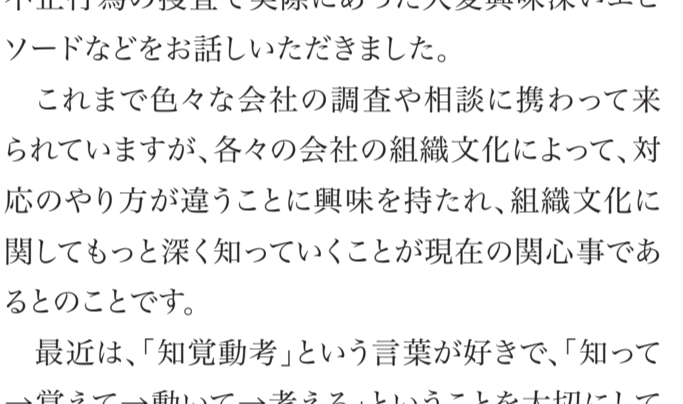
ニコニコ箱合計	20,500円
累計	987,000円

■ 祝 誕生日



森 田 真 郎 会員(1日)

先週のプログラム



泉大津税務署長 増田 歌織 様

主に法人税関係の事務に携わられておられました。ご出身は大府堺市とのこと。

増田様の高校生時代の趣味や税務の仕事に興味を持ったきっかけなどの話から始まり、脱税などの不正行為の捜査で実際にあった大変興味深いエピソードなどをお話いただきました。

これまで色々な会社の調査や相談に携わって来られていますが、各々の会社の組織文化によって、対応のやり方が違うことに興味を持たれ、組織文化に関してもっと深く知っていくことが現在の関心事であるとのことでした。

最近、「知覚動考」という言葉が好きで、「知って→覚える→動いて→考える」ということを大切にしておられ、職員にも、「いくら知らなくても、いくら覚えても、動かなければ結果は変わらないので、知り得た知識を持って行動に移すように」と指導しておられるとのことでした。

以上

■ クラブアッセンブリー

クラブ管理運営部門理事 泉谷 仁博

本年度、クラブ管理運営部門の理事を担当しました泉谷です。

1年間、ありがとうございました。

クラブ管理運営部門は会員相互の交流と親睦を一層深めるための環境づくりをすること。その為に3委員会とコミュニケーションを密にし、クラブの活性化に努めたいと思い活動しました。

また、ロータリーの親睦は、ただ楽しむことだけではなく、お互いに切磋琢磨しながら「学び合い」メンバーの間で信頼関係が構築されるようにしたく今年度は取り組みを考えていましたが、私の都合により実現できませんでした。

しかし、コロナも終息し、楽しい事業で親睦を深めることが出来たと思います。

親睦活動委員会では例会の運営にご尽力いただき、最終例会の懇親会から始まり。納涼例会、クリスマス例会 12月18日 ロイヤルクラシックホテル ウクライナの話しと松内サンタさん大変良かったと幸いです。

家族例会 5月14日 Wホテルにて、新しい感じの親睦が出来たと思います。

同好会の開催も今年度は活発に行っていた様子でした。ゴルフ同好会、2回とウォーキング・グルメ・日本同好会のセットで2回

ウォーキング同好会、小野寺さん・日本同好会、細川さん・グルメ同好会、松内さん・西田さん・ゴルフ同好会、道正田さん、本当にありがとうございました。会員増強です、私が欠席でご迷惑をお掛けしました。今年度は純増2名、70周年で50名を目標に原正人委員長も活動いただいていたのですが目標を達成することが出来ませんでした。

クラブ会報・IT委員会ではマイロータリー全員登録

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3206回

を目標に努めて頂きました。次年度理事にも、私の思いをしっかり引き継ぎし、クラブを盛り上げていきたいと思っています。

以上

職業奉仕部門理事
今井 克範

今年度職業奉仕委員会の1年の報告をさせていただきます。

職業奉仕は、事業として職業上の高い倫理基準を持ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各人の職業を高潔なものにしていくことという自身の活動とともに、高めていける目的を持っています。

ロータリアンは、ロータリーの理念に基づく行動を日頃の個人生活、社会生活、職業生活の中でいかに実践できるかが問われています。それでも、時代が変われば、社会も変わり、自身も、自身の周囲の環境も変わって得る中で、私たちは普遍的な姿勢と行動で、常に意識していくべき、職業奉仕の理念に対し、今年ほどのような活動をすればいいのかを委員会でも話し合いながら進めてきました。今年は、3回の事業をもって進めていくということになりました。

12月2日(金)例会でのクラブフォーラムの中で、職業奉仕の実践についてのロータリアンとしての活動と個人の考え方を3人登壇してお話頂きました。その話から、私たちが各人が自身の事として実践できる事を考え、行動する気づきの場に出られたかなと思います。次に3月17日(金)職業研修を実施しました。研修先は、wellness vegetable (ウエルネスベジタブル)を運営されている有限会社ロハスラボ大阪で、当日は小門氏と深野氏にお話を頂き、きくらげの生産現場とお店を案内、見学させて頂きました。地元泉大津で新しい取組んでいる若い世代の職業としての観点を中心にお話頂きました。捉え方として、ご自身の体質改善をきっかけに事業として始めようとしたこと、また、きくらげの生産の現状が健康志向とは違った政治や経済の循環の中で行われている事などから、自分たちが危機意識を持って、社会に貢献したいとの考えで

取り組んでいる事など、とても学びになり、気づきを得る事ができました。ロータリークラブの当日の参加者は19名でした。

そして、先週5月26日(金)には、職業奉仕勉強会を開催させて頂きました。当日の参加者は、17名でした。

今回は、リアルな会場とオンライン登壇の講師を繋いでの勉強会として開催させて頂きました。講師は、第2640地区ガバナーエレクトの谷宗光氏を迎え、職業奉仕に関するお話を頂きました。谷氏からは、ご自身の仕事に関するこれまでの経緯の過程をお話頂き、今の事業があるのも、これまでの蓄積があるからだとの認識をもらいながら、職業奉仕は日々実践する人の観点、価値観によっても捉え方が変わると思うので、皆さん一人ひとりが考え実践してほしいとメッセージをもらいました。現在の職業も家業が転業されてきた中で、ロータリークラブと出会い、奉仕の考えも事業の進展とともに培われてきた事がよく理解できました。人は仕事、職業によって育てられるんだと実感しながら、実践していている私たちが、より自分ごととなった勉強会であったと思います。

今年度は、テーマを持って職業奉仕委員会として活動させてもらいました。職業と変化は、「時代の変化や進化によって変わる職業と変わらない倫理」でした。テーマを持つ事で、単に聞いて学ぶだけでなく、そのテーマと自分自身の観点がどのように行動に結びつけられるかという事を主旨にしていたので、皆さんが、これからの職業に向かう姿勢、事業の取り組み方などで、社員さんやその家族との関係性をつくっていく上で、今年が何かしらの発信ができたのであれば幸いです。どうもありがとうございました。

社会奉仕担当理事・委員長
川端 徹

社会奉仕委員会、青少年・ライラ(RYLA: Rotary Youth Leadership Awards)委員会での本年度(2022~2023)の活動報告と次年度に向けての展望についてご報告いたします。

1) 泉大津ロータリークラブ 共催の献血活動

1回目は令和4年8月24日(水)、2回目は3月15日(水)に泉大津市役所で献血(泉大津市献血推進協議会主催)が行われました。それぞれ70名、64名の方々の献血受付がありました。多くのお礼品の御提供を頂いた会員の皆様。また当日会場に駆けつけていただいた会員の皆様、有難うございました。

当クラブの継続活動として今後の運営方法については検討する余地は残されています。

2) 認知症支援活動

毎年9月は世界アルツハイマー月間です。「だんじり祭」と認知症支援としてだんじり講演会を3年ぶりに、9月19日敬老の日(祝日)にテクスピア大阪小ホールで開催いたしました。一部で行った認知症サポーター養成講座では44名の方が受講され、新たに認知症サポーターが誕生しました。二部のだんじり講演会と合わせ計65名の方に参加いただきました。

3) 子供食堂への共催・支援について

『サンタさんからのプレゼント会(子ども支援事業)』を2022年12月11日(日)、ローズガーデン条南苑(ローズテラス)において、子ども支援事業の一環として行いました。27名の子どもたちに、サンタコースからクリスマスプレゼント(長靴お菓子)が手渡されました。子供食堂自体は、新型コロナ感染拡大のため残念ながら中止となりましたが、多くの子どもたちの笑顔に触れ合うことができました。

4) 港湾美化清掃啓発活動

港湾美化清掃啓発活動が明後日の6月4日(日)に控えております。ロータリークラブとして何かアピールできないか?ロータリーのデザインのジャケット、Tシャツなどユニホーム、写真をSNS(Facebook)等で流すなど。会員がロータリークラブについて、市民と対話し紹介しながらゴミ拾いをするなど、少し指向を変えても楽しめるかなと思っています。ゴミ拾いアプリPirikaについてもご紹介させていただきます。

5) ローターアクトの復活について

国際ロータリー第2640地区ロータリーアクト委員長の小池 知明様をお招きし3月17日にロータリー

アクトの現況のお話を伺いました。

- 1. 現状
 - ・2019年~RIに加盟し、ロータリークラブと対等。
 - ・25~28歳。会員数減少、学生会員あり。
 - ・一部の会員に負担集中。
 - ・30歳年齢制限なしになる。
 - ・6クラブ、30名/地区(岸和田、御坊、堺、富田林、松原、和歌山東南)
- 2. どういうメンバーで構成されているか?
 - ・ロータリー会員ご子息、企業社員派遣、インターアクトから、和歌山大学学生会員など。
- 3. 年間予算、決算の現状はどうなっているか?
 - ・人頭分担金発生(8ドル/年/1人)
 - ・地区年間予算90万円
 - ・各クラブ30万円/年、アクト会費、ロータリークラブニコニコ。
- 4. 地区ロータリーアクトの方向性は?
 - ・復活させるための方策は
 - ・和歌山友(外国人 インド人、中国人) 地域密着型
 - ・マニュアルの作成(多くの会員が運営に関与できるように)
 - ・ロータリーアクトのないRCに、ロータリーアクトを拡げるためにどのように話をもって行っているか。
 - ⇒特別なことは現在行っていない
 - ・ロータリー会員のアクトに対する認識が薄い
 - ・ため、卓話招待に依るなど、積極的に関わりを増やす。

2023~2024年度、ロータリーアクトを復活させるかどうか、次年度委員長の杉本理事ならびに上田会長にバトンタッチさせていただきます。

6) FMいずみおまつ「ロータリーを語ろう」(仮タイトル)(案件)

(新旧合同クラブ社会奉仕委員長会議(5月13日開催)での当ロータリークラブからの提言より) 当ロータリークラブでオリジナル番組(50分)を持ち地域に発信することを提言いたします。ロータリークラブの地域社会と関わりの中で絶大な以下の効力が一般かかと考えます。

- ・一般市民を取り込み、さまざまなイベント開催(社

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3206回

会奉仕事業)の企画・協力や紹介など配信。
・ロータリークラブの理解が深まる。
・ゲスト出演してもらい、さらに皆者基盤を拡げる。
・グロースターメンバーでFMいずみおまつへの参加等、関係者が多い。
・持ち回りで番組を担当する。自身の職業や趣味などの話など紹介。
・番組内容は、後日FacebookやInstagram等SNSで配信。
ポイント:
①インパクト②参加者基盤を拡げる③参加者満足度④持続可能性⑤資金

以上、次年度の社会奉仕委員長の根尾理事長に伝達させていただきます。ご検討宜しくお願いいたします。様々な当クラブ社会奉仕部門の事業に1年間、ご参加賜り誠にありがとうございました。あらためて会員の皆様に陳謝させていただきます。

国際奉仕部門理事
山本 博章

国際奉仕の部門では皆さんご周知の通り3つの委員会があります

1. 米山記念奨学会
2. グローバル基金財務
3. ロータリー財団

となっております。どれも過去にはそれほど委員会を開催する回数があり多くなかったように思いますが今期においてはロータリー財団委員会を計6回開催しております。これは地区補助金(DDF)を活用しての事業を来年度に行うため今年度中に計画書を作成し地区の財団補助金委員会に申請する必要があります。次年度に行う事業は上田エレクト発案のプロジェクトで大阪出身の作家である吉村喜彦氏をお迎えし講演いただくので公開例会となっております。この計画書の内容も財団補助金委員会の規定により7つの重点分野がありそれらをクリアしたものでないと認定されません。企画内容も上田エレクトが作成し認定いただいたもので恐らく認可されるものと思われま

す。5月に瀬谷委員長がこの事業計画書を提出いたし

まして7月若しくは8月ごろには地区委員会より結果通知が届くことになります。申請にあたり財団補助金セミナーを開催、私の名が3日行と和歌山まで上田エレクト、細川会員、私があり行ってきます。補助金の設定は各クラブごとで寄付金額に応じた計算の元決定されます。また事業のほうは9月22日に開催される予定となっておりますので皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

さて次にスイスのローザンヌ大学に奨学生として現地で研究や勉学に励んでいる岸田隆明君ですが先日連絡を取り合いました。今現在の報告を頂きながら先月から研究所助手としての仕事も始めこれから7月まで試験期間にはいるため休む時間がない生活ですが、おかげさまで充実した留学生生活を過ごさせていただいております。泉大津ロータリークラブの皆様には留学準備から大変お世話になりました。また夏の中間報告の際にご挨拶をさせて頂いた。また夏~8月中旬ごろには帰国予定会場でクラブのご都合がよろしければ直接例会会場まで伺いできれば幸いです。との連絡をいただきました。皆様その時はどうぞ温かく迎えていただきますよう宜しくお願いいたします。

国際奉仕クラブアッセンブリーは以上となります皆様1年間ありがとうございました。また各委員会の委員長始めメンバーの皆様1年間お疲れさまでした。